G. F. HÄNDEL

MESSIAH

第46回ベガメサイア （全曲演奏）

2026年 **12/12(土)**

13:30 開場、13:45 ～指揮者によるプレトーク

14:00 開演 **宝塚ベガ・ホール**

（阪急宝塚線清荒神駅下車すぐ）

指揮 高曲 伸和

演奏 テレマン室内オーケストラ

ソプラノ	松岡 万希	メゾソプラノ	吉岡 七海
テノール	眞木 喜規	バリトン	津國 直樹
合唱	ベガメサイアを唱う会、宝塚少年少女合唱団		

■友の会　前売2,400円（当日同額）
先行予約 9月18日（金）10:00～

■一　般　前売3,000円（当日3,300円）
一般発売 9月25日（金）10:00～

・全席自由

・前売券完売の場合、当日券の販売はございません。

県民芸術劇場

この「県民芸術劇場」は、優れた舞台芸術をより多くの方々に身近に鑑賞していただくため、（公財）兵庫県芸術文化協会が県の補助を受けて、市町等地元主催者とともにその経費の一部を負担して実施するものです。

【チケットのお求め】

■宝塚市文化財団ウェブサイト
https://takarazuka-c.jp/menu/ticket.html

■電話予約
宝塚市文化財団　0797-85-8844（9:00-17:00日祝休）

■窓口
宝塚ベガ・ホール、宝塚ソリオホール、
宝塚文化創造館、宝塚市立文化芸術センター

■ローソンチケット
https://l-tike.com（Lコード53631）

【主催】
（公財）宝塚市文化財団、（公財）兵庫県芸術文化協会

【後援】
宝塚市、宝塚市教育委員会、日本ヘンデル協会

【お問い合わせ】
宝塚ベガ・ホール　0797(84)6192

地域文化の質向上を願い、（公財）宝塚市文化財団の
文化事業の支援を目的としてご寄付をいただきました。

三井不動産リアルティ MITSUI FUDOSAN REALTY

KANAI 金井重要工業株式会社

指揮　高曲 伸和　TAKAMAGARI Nobukazu

同志社高等学校、大阪音楽大学を経て同大学院修了。奨学金を得てオランダへ留学。バリトン歌手としてバッハ《マタイ受難曲》、ヘンデル《メサイア》など独唱。2014 年《マタイ受難曲》イエス役（住友生命いずみホール）は音楽之友誌上で「充実の歌唱」と評された。一方、指揮者としてもバロック・古典派のスペシャリストとして、バッハ《マタイ受難曲》、ヘンデル《メサイア》、モーツァルト《レクイエム》、ベートーヴェン交響曲第 9 番ほか幅広いレパートリーを持つ。手兵アンサンブル・フロット、他プロオーケストラへ多数客演、文化庁主催青少年のための音楽教育プログラムでも全国巡回公演を重ねている。近年では 2021 年「ベガメサイア」（宝塚ベガ・ホール）指揮者就任、宝塚歌劇団でも多くの公演をジャンルレスに支えている。2017〜2019 年 KBS 京都テレビ「おやかまっさん」レギュラー。アンサンブル・フロット音楽監督、大阪音楽大学大学院講師、日本指揮者協会会員、NPO 法人関西音楽人クラブ運営委員。

演奏　テレマン室内オーケストラ　Telemann Chamber Orchestra

1963 年に指揮者・延原武春が結成。延原の指揮のもとテレマン作曲「マタイ受難曲」、「ヨハネ受難曲」等数々の作品を本邦初演。主な受賞歴は、「大阪文化祭賞」、「音楽クリティッククラブ賞」、「大阪府民劇場賞」、「文化庁芸術祭優秀賞」（関西初）、「サントリー音楽賞」（関西初）等。1990 年バロック・ヴァイオリンのサイモン・スタンデイジをミュージック・アドヴァイザーとし、バロック楽器（18 世紀当時の楽器およびそのレプリカ）による演奏を始める。2003 年にはドイツのバッハ・アルヒーフから招聘を受け「バッハ フェスティバル in ライプツィヒ 2003」に出演し、C.P.E. バッハ「チェンバロ協奏曲 Wq1」を世界初演した。2006 年からはクラシカル楽器（古典派の時代に使用された楽器およびそのレプリカ）による演奏を始め、2007 年には同楽器による F.J. ハイドンのオラトリオ「四季」を好演。「大阪文化祭賞グランプリ」を受賞した。2008 年にはクラシカル楽器による「ベートーヴェン交響曲全曲＆荘厳ミサ曲」を連続公演。これがきっかけとなり延原はドイツ連邦共和国より功労勲章を受章した。2009 年よりテレマン室内管弦楽団をあらため「テレマン室内オーケストラ」と改称。2012 年にはドイツよりバロック・ヴァイオリンの U. ブンディースを首席客演コンサートマスターとして迎えた。2023 年には協会創立 60 周年事業第 300 回定期演奏会で 1829 年のメンデルスゾーンによるバッハ「マタイ受難曲」蘇演を再現。その功績が認められ、令和 5 年度大阪文化祭賞を受賞。

ソプラノ　松岡 万希　MATSUOKA Maki

神戸市出身、兵庫県立西宮高等学校音楽科を経て、京都市立芸術大学音楽学部声楽専攻を首席で卒業、東京藝術大学大学院修士課程音楽研究科オペラ専攻を修了。リリックな響きと豊かな声量を持ちイタリア・ロマン派作品の演奏を得意としている。その歌唱は「第 53 回全国学生音楽コンクール」「第 2 回東京音楽コンクール」「第 9 回コンセール・マロニエ２１」「第 28 回飯塚新人音楽コンクール」の全てにおいて総合第 1 位優勝と高く評価されている。2001 年京都市芸術文化特別奨励者に、2006 年度文化庁新進芸術家海外留学制度にて研修員に選定されイタリアに渡る。帰国後はリサイタル公演を中心として各方面のコンサート、オペラ公演にソリスト、主要役として出演、「第 20 回青山音楽賞」「第 20 回 ABC 新人コンサート音楽賞」「平成 24 年度ひょうごアーティストサロン賞」「兵庫県芸術奨励賞」を受賞するなど演奏活動への評価も高い。近年は演奏会プロデュースを多く手がけ、歌手グループ公演「オールソプラノズ」を牽引する。兵庫県立西宮高等学校音楽科特別非常勤講師、東京二期会会員

メゾソプラノ　吉岡 七海　YOSHIOKA Nanami

大阪市出身。大阪音楽大学音楽学部声楽専攻卒業。大学卒業時に優秀賞を受賞し、2022 年度卒業演奏会に出演。同大学大学院声楽研究室 歌曲・オラトリオ系修了。これまでに M.A. シャルパンティエ《テ・デウム》、G.F. ヘンデル《メサイア》、A.ヴィヴァルディ《ニシ・ドミヌス》《グロリア　ニ長調》、G.B. ペルゴレージ《スターバト・マーテル》、W.A. モーツァルト《戴冠ミサ》等のアルトソロを務める。また第 13 回関西の音楽大学オーケストラ・フェスティバルのソリストに選ばれ、千住明作曲　オペラ《万葉集》〜二上挽歌編〜　持統天皇役として出演。声楽をこれまでに山中栄子、加藤かおり、田中勉各氏に師事。日本ドイツリート協会会員、大阪音楽大学演奏員、同大学付属音楽幼稚園非常勤保育助手。

テノール　眞木 喜規　MAKI Yoshinori

大阪音楽大学卒業後は主に教会音楽の分野で活躍。バッハの作品ではこれまでにカンタータ、ミサ曲等約 100 曲に渡る楽曲でソリストを歌い、バッハの「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」ヘンデル「ブロッケス受難曲」テレマン作曲の受難曲等で福音史家を務める。バロックから古典派を中心とした教会音楽においてソリストとして多数出演。2002 年ライプツィヒ・バッハ音楽祭、2021、2022 年武生国際音楽祭にソリストとして出演。現在、ヴォイスペクティヴ・ディレクター。神戸市混声合唱団団員。全国のプロ合唱団、古楽アンサンブル等に多数参加。合唱指導者として、日本製鉄混声合唱団ヴォイストレーナーの他、レクイエム・プロジェクトで合唱指導、室内合唱団えべっさんす、コルス・シンフォニアクス、ヴェリタス・コア大阪、等で指揮者・音楽監督として活動している。

バリトン　津國 直樹　TSUKUNI Naoki

京都市立芸術大学音楽学部卒業、同大学大学院修了。ウィーン国立音楽大学卒業。ローム音楽財団奨学生。オペラではフィガロの結婚、マルタ、ジャンニ・スキッキ、ヘンゼルとグレーテル等主要な役で多数出演。歌曲では美しき水車小屋の娘、冬の旅、詩人の恋などをウィーン、東京、金沢、京都などで演奏。宗教曲ソリストとして、ベートーヴェン：ミサ・ソレムニス、第九、モーツァルト、フォーレ：レクイエム、ヘンデル：メサイアの他、メンデルスゾーン：エリア、パウロ、バッハ：マタイ受難曲、ヨハネ受難曲を好演した。JSG シューベルト国際歌曲コンクール 2 位、聴衆審査による特別賞。友愛リートコンクール 1 位、文部科学大臣奨励賞。日本音楽コンクール 3 位。桃山学院大学教育学部非常勤講師。京都子どもの音楽教室非常勤研究員。

合唱　ベガメサイアを唱う会

ベガ・ホールで「メサイア」を歌うために毎年集まり、演奏会が終われば翌年までお別れというユニークな合唱団。公募、オーディションを経て団員となる。

合唱　宝塚少年少女合唱団

1975 年創立。小学校 1 年生から高校 3 年生までの約 60 名が在籍。年間 10 回以上の演奏活動を行っており、これまでにフィンランド、ハンガリー、エストニア、台湾など海外演奏旅行も実施。2025 年、創立 50 周年を迎えた。